

YPU ドリームアドベンチャープロジェクト 2017<中間報告>

放置自転車美化美化(ピカピカ)大作戦

【活動目的】

大学にある放置自転車の数を自転車修理および啓もう活動により減少させ、構内の美化に努める。

【活動内容】

- ① 山口県立大学に放置された自転車の修理と再利用
- ② 自転車を大切にするためのワークショップ等啓もう活動

① 自転車の修理と再利用

山口県立大学に放置された自転車のうち、防犯登録のない自転車約 20 台を修理する予定となっていた。しかしながら 9 月～11 月の間の修理の実施後想定外に劣化の進んでいるものが多く判明し、それらの再利用は危険であるとの判断もあり最終的に修理を行えたものは 7 台となった。ブレーキやチェーン等、安全に関わるものについては県大そばの自転車店にて修理していただき、サビ取りやライト・ベル取り付けはメンバーで行った。

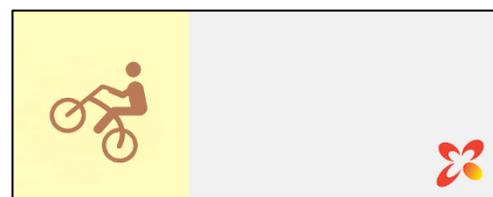
こうして修理を終えた自転車を 11 月 10 日より、県大生に向けてレンタルする。現在南キャンパスと北キャンパスの往復などによる負担を抱えた学生も存在しているため、少しでもその負担を軽減できるようにお力添えとなりたい。



② ワークショップ概要

<防犯登録シール>

9月29日の後期オリエンテーションにて、防犯登録シールを作成し配布した。このシールには大学のロゴが入っている。よって自転車が盗難されてどこかに放置されてしまったとしても、県大のロゴが入っていることから返ってくる可能性が高くなると期待される。しかしながら広報等の不備によって利用率が低い結果となったため、華月祭で行ったワークショップにて貼付の呼びかけをした。



<華月祭で行ったワークショップ>



11月4日の華月祭にて、展示場所をかりて自転車に関するワークショップを行った。

内容は主に4つあり、

- 1つ目は県大の放置自転車および違法駐輪の現状
 - 2つ目は自転車のメンテナンス方法および自分でできるパンク修理の方法
 - 3つ目は正しい自転車の処理方法
 - 4つ目は自転車レンタルを行う上でのお知らせ等
- である。

プロジェクターを用いてホワイトボードにスライドを映しながら説明を行った。自分でできるパンク修理方法においては実際にチューブや工具を用意して、実践しながら

ら説明をした。学生は約 15 人、一般の方も何人か足を止めて話を聞いてくださった。

質問には、以下のようなものがあった。自転車を処理する際の防犯登録の抹消方法について、違法駐輪を調査した方法について、パンク修理をする際にチューブを取り出すコツは何か等々であった。

感想では、県大にこんなに多くの放置自転車があることを知らなかった、これから入学する学生にも伝えていきたい、自分でパンク修理をするのは難しいかもしれない、県大近くの岸本自転車店を訪ねてみたい等々の意見をいただいた。

【反省、感想、今後】

ワークショップにおいては、人を集めることがとても難しかった。今回は大学にポスターを貼らせてもらったり、HP に掲載させていただいたりしたが、さらに効果的な宣伝方法を考える必要性があると感じた。

ワークショップを行う目的の 1 つに、学生に自分の自転車を大切に長く使ってもらうことがあった。しかし現在は自転車の価格だけでなく価値が下がってしまっている現状を自転車店の方から聞いた。そのため学生に呼びかけていくことは難しいかもしれないと思った。パンク修理方法については岸本自転車店のオーナーさんに丁寧に教えてもらい、工具まで貸していただき大変お世話になった。

